

2025 年度 和泉短期大学雇用満足度調査

- 1 調査目的：卒業生の就業状況を把握することで、本学の定める卒業認定・学位授与の方針を満たしているかを確認し、教育の質保証を図ることを目的とする
- 2 調査対象：2023 年 4 月、2024 年 4 月に本学卒業生を採用いただいた園・施設
- 3 調査方法：調査項目記載用紙を送付し、グーグルフォームで回答いただいた
- 4 調査期日：2025 年 12 月
- 5 調査件数：160 件（上記 2 の中から無作為に抽出、別紙のとおり）
- 6 回答件数：94 件（前年度 98 件）
- 7 回答率：58.8%（前年度 61.3%）

〔結果と分析〕

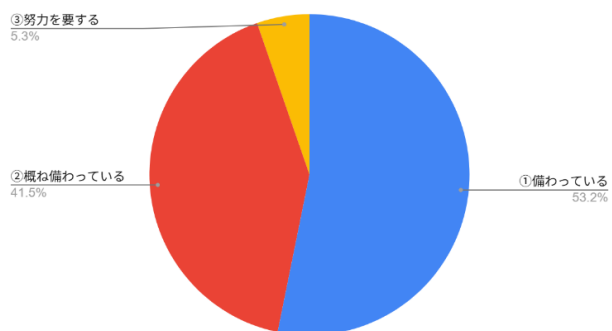
和泉短期大学卒業生を雇用して下さった園、施設の方々に、本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて定めた「和泉の 10 の力」について、それぞれ「備わっている」「概ね備わっている」「努力を要する」の 3 件法でご回答を求めた。

その結果、8 つの項目で「備わっている」と「概ね備わっている」の合計が 90%を超えており、多くの卒業生がこれらの力を身につけていることが分かった。その一方で、「Ⅱ-9 自ら行動する力」、「Ⅱ-10 実践する力」の 2 つの項目については、「努力を要する」の回答がそれぞれ 11.7%だった。この 2 項目については、「備わっている」との回答も半数を割っている。このことから、学生自らの行動力、実践力が十分に身につけていない現状が示唆された。これらの力の習得が課題であることを意識し、本学の教育、キャリアデザインに取り組む必要がある。

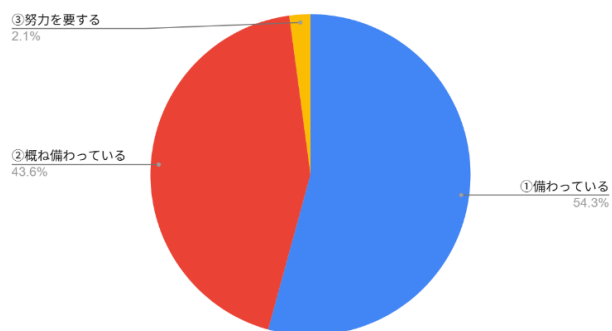
「備わっている」という回答の上位は、多い順に「Ⅱ-2 人権の尊重について (54.3%)」、「Ⅱ-1 礼節を重んじ良識ある行動ができる (53.2%)」、「Ⅱ-4 社会貢献 (52.1%)」だった。「人権」、「礼節」は昨年度も上位項目に入っていた。これに「社会貢献」が加わったことが今回の調査結果の特徴の一つといえる。本学は開学以来、福祉の教育にも力を注いできた経緯があり、またボランティア活動を奨励している。多くの学生が、卒業後に人権の尊重、礼節と良識に基づく行動とともに、社会に貢献する社会人として歩めるよう、今後もその意識の醸成に努めたい。

2026 年 2 月 5 日
和泉短期大学 学生委員会

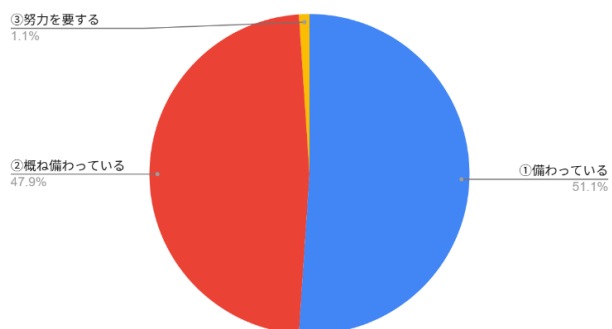
II-1. 礼節を重んじ良識ある行動ができる



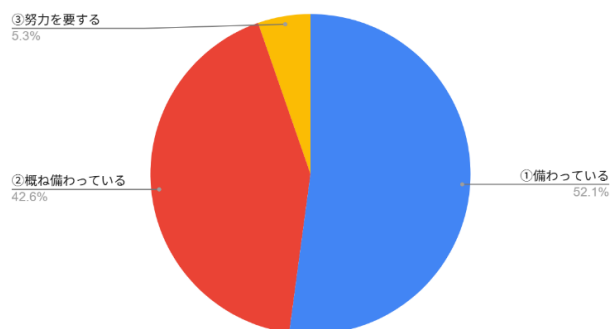
II-2. 人権の尊重について



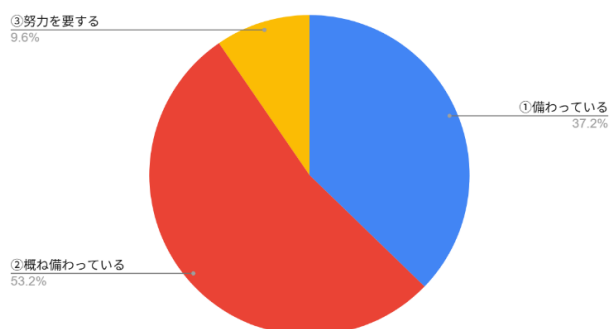
II-3. 多様性の尊重を理解する力



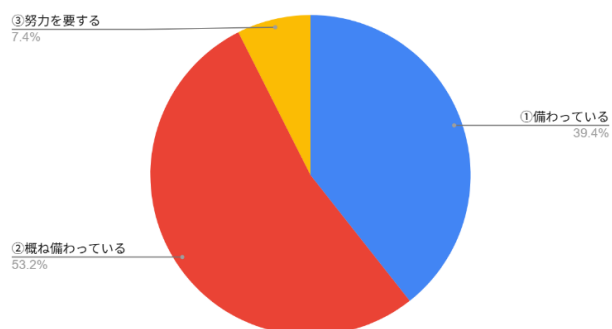
II-4. 社会貢献



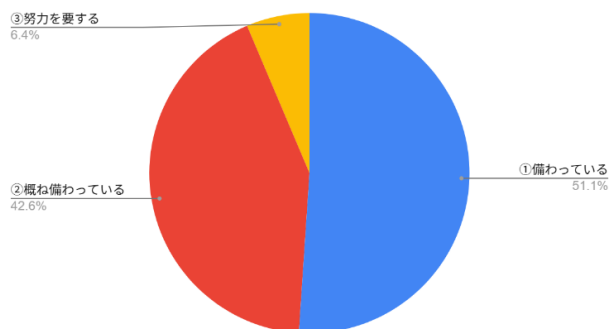
II-5. 基礎学力



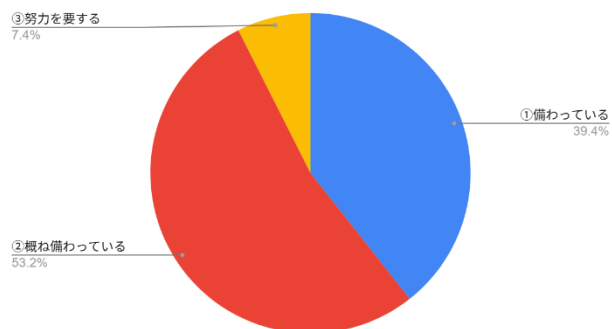
II-6. 保育・福祉の知識と技能



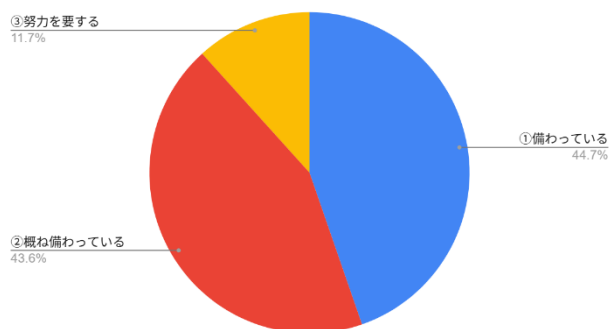
II-7. コミュニケーション力



II-8. 自ら考える力



II-9.自ら行動する力



II-10.実践する力

